

先進的 CCS 事業に選定された国内 2 事業

当社は、2030 年度までの事業開始を目指し、CO₂の分離・回収、輸送、貯留（CCS）のバリューチェーンを一体的に支援する「先進的 CCS 事業（独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）公募）」において、2023年度に北海道苫小牧と新潟県東新潟の国内 2 事業が選定を受けました。

2024 年度も CCS バリューチェーン全体の設計作業や貯留ポテンシャル評価作業を行う公募に、国内 2 事業が選定されています。



事業

1

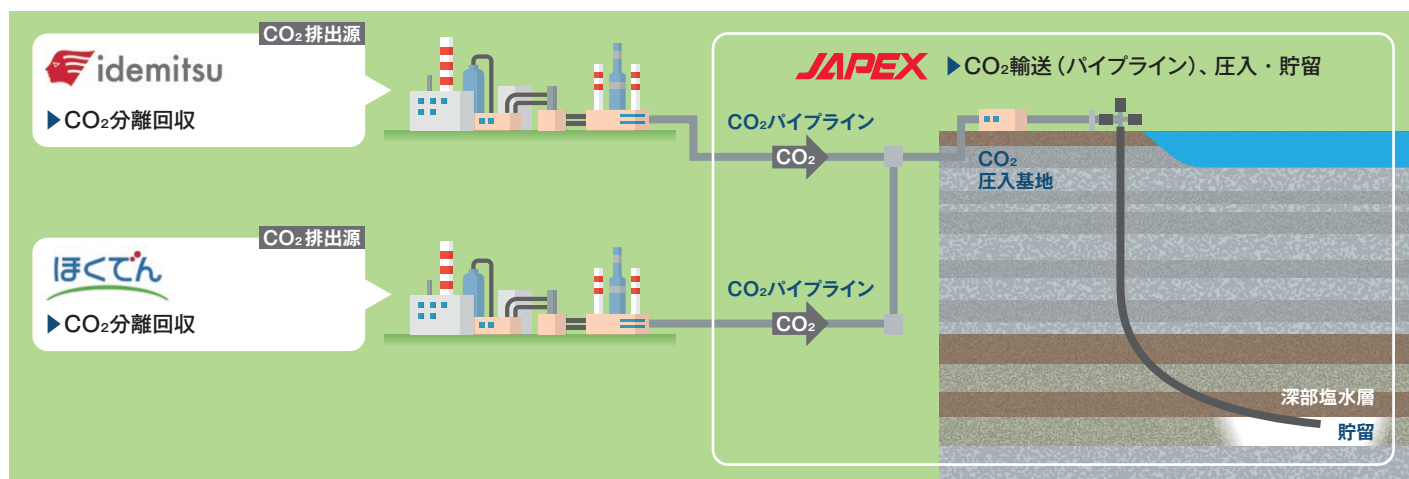
苫小牧地域 CCS 事業 (TomaCO₂mai CCS Project) 概要

- ◆ 苫小牧市近郊に拠点を持つ、石油資源開発、出光興産、北海道電力の 3 社で CCS バリューチェーン全体の検討を実施（CO₂分離回収・パイプライン輸送・圧入貯留・モニタリング）
- ◆ 苫小牧地域において、2030 年までに 150 ～ 200 万トンの貯留開始を目指す



案件概要

項目	内容
会社名	石油資源開発株式会社、出光興産株式会社、北海道電力株式会社
貯留地域	苫小牧地域（深部塩水層）
貯留量	150 ～ 200 万トン / 年を想定
排出源	苫小牧地域の製油所・発電所
輸送方法	パイプライン
事業の特徴	苫小牧地域の産業による CO ₂ を資源として再利用する「CCU/カーボンリサイクル」や、苫小牧地域の産業と CCS を組み合わせたカーボンニュートラル事業への展開を視野に入れた事業を推進する。



東新潟地域 CCS 事業概要

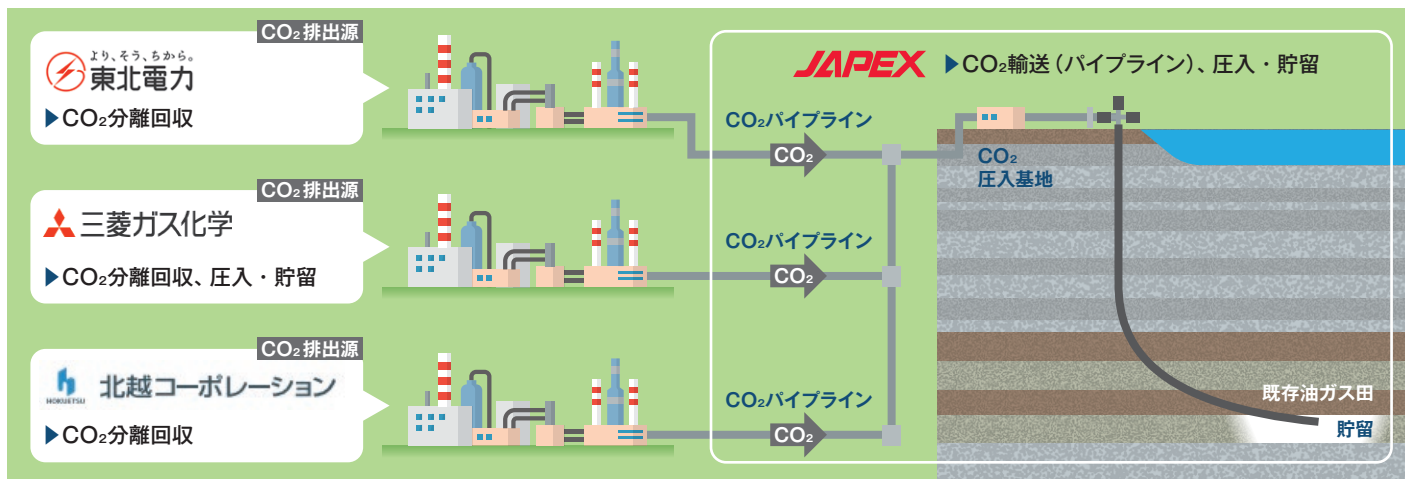
- ◆新潟市内に拠点を持つ、石油資源開発、東北電力、三菱ガス化学、北越コーポレーションの4社でCCSバリューチェーン全体の検討を実施（CO₂分離回収・パイプライン輸送・圧入貯留・モニタリング）
- ◆東新潟地域において、2030年までに140万トンの貯留開始を目指す。



出典：国土地理院図を基に当社が作成

案件概要

項目	内容
会社名	石油資源開発株式会社、東北電力株式会社、三菱ガス化学株式会社、北越コーポレーション株式会社
貯留地域	新潟県内（既存油ガス田）
貯留量	140万トン／年を想定
排出源	新潟県の化学工場・製紙工場・発電所
輸送方法	パイプライン
事業の特徴	化学・紙・電力等を対象に、既存の油ガス田等を活用し、脱炭素燃料や環境価値等の付加価値創出を狙った事業を推進する。



〈苫小牧・東新潟共通〉

2030年度までの想定スケジュール 2026年内の事業化判断、2030年までに確実にCO₂受入／圧入開始を想定

	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
分離回収設備	概念設計	基本設計				設計・調達・建設		
輸送設備	概念設計	基本設計				設計・調達・建設		
圧入設備	概念設計	基本設計				設計・調達・建設		
貯留層モニタリング検討	概念設計		評価			モニタリングのため地下データを取得		
坑井掘削			試掘準備・試掘			圧入井掘削		